

2021年度

自己点検、自己評価結果報告

堺看護専門学校

堺看護専門学校における自己点検、自己評価

1. 目的 本校の教育活動その他学校運営状況について、自己点検・自己評価を行うことにより改善点を明らかにし、教育水準の維持、向上を図るために実施する。

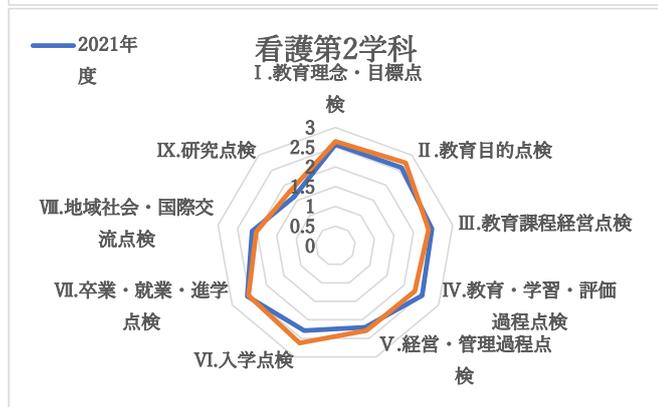
2. 自己評価・自己点検の方法

- 堺看護専門学校自己点検・自己評価規定に基づき、評価を実施する。
その結果を分析し改善点を明らかにする。

3. 評価内容

カテゴリー	評価の概要	2021年度	2020年度
I 教育理念・目的	教育理念・目標が明文化され、学生の指針となるように具体的に示されているか、またディプロマポリシーを反映しているかを評価します(11項目)	2,7	2.7
II 教育目的	教育理念・目的・教育目標との一貫性や、卒業後の継続教育を考慮した教育目標設定であるかを評価します(7項目)	2.7	2.7
III 教育課程経営	教職員全体が、教育理念・教育目標の達成に向けた活動を行っているかまた根拠をもって教育課程を編成し評価する体系を整えているかを評価します(30項目)	2,6	2.5
IV 教育・学習・評価過程	授業内容と教育課程との一貫性や、評価結果に基づく改善・発展に向けての取り組みをしているかを評価します(16項目)	2.6	2.5
V 経営・管理過程	学校の組織体制について、財政・設備の整備・学生の支援や意思決定システムが適切かを評価します (25項目) また、学校評価体制のもと将来構想のもと計画的に運営されているかを評価します(11項目)	2,4	2.3
VI 入学	教育理念に基づいた入学者選抜と、実施状況の分析・検証状況についてを評価します(2項目)	2,4	2.4
VII 卒業・就職・進学	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し教育活動に反映しているかを評価します(10項目)	2,5	2.5
VIII 地域社会・国際交流	地域社会のニーズを把握し地域交流を計画的に行ったり、国際的視野を広げるための取り組みなどを評価します(10項目)	2,1	2.1
IX 研究	教員の研究活動への支援体制について評価します(3項目)	1,9	1.9

4. 結果 (2021年度・2020年度比較)



令和3年度 自己点検自己評価(成果と課題)

I. 教育理念・目的点検	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりのカリキュラム改正に伴い、教育理念等を全体で共有し目指す方向性を明確にできた。教育内容への反映や、検討ができています。 ・教職員が、教育理念のもと日々の教育活動につなげ実践に向けて学生にも説明し、DPを達成するための学習計画や内容を理解し学習に取り組めるようにする。 ・今後は、カリキュラムマネジメントにより整合性の評価が必要である。
II 教育目標点検	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムデザインを作成することで、DP/CPとの関連性が明確にできた。 ・コロナ禍で、卒業時の到達目標に向けて教育方法の工夫や遠隔授業を導入し、目標達成に向けて取り組んだ。卒業時の到達状況を評価し、体験不足による技術面、実践能力の習得への支援が必要である。 ・卒業時の評価だけでなく、卒業後の評価も行いDPとカリキュラムの妥当性を評価していく。
III. 教育課程経営点検	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの構築によりDP/CPの関連性を明確にできたが、運営については実践活動を評価し教育計画や内容の改善等のカリキュラムマネジメント十分とは言えない。 ・コロナ禍を見据え、対面授業とWeb授業の両面より出校停止の学生にも学習機会の確保に努めた。 ・臨地実習では、学生数や実習時間の制限があり実習施設と調整し、実習施設以外の場での実習と併用し履修時間、目標達成できるように取り組んだ。 ・教員の教育・研究活動の充実では、授業の準備時間が取れない現状である。今年度もコロナ禍で学会や研修会の開催が制限されていたが、オンデマンド配信による研修では、教員の可能な時間で視聴できた。 ・学習会で、研究発表、各科の教育実践の報告を行った。今後も実践の可視化と共有が必要である。
IV. 教育・学習・評価過程点検	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に基づきカリキュラムデザインより、教育内容の検討とシラバスを作成している。入学時に教育目標や、学ぶべき科目の学習内容から目標を明確にし主体的に学習にとり組めるようにする。 ・授業評価を行い、各教員へフィードバックしているが、経験等による教員による差があることは否めない。多面的な評価方法を検討する必要がある
V. 経営・管理過程点検	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の社会情勢に応じて、学校再編成の方針が打ち出された。長期的な展望と計画について教職員に説明を行いながら、スムーズに進行するように協力を得る。財政困難な状況にあるが医師会との連携を取りながら教育の保証と、健全な経営を行う。 ・受験生の減少に伴い安定した学校運営を行うためには、受験生の確保や就学生の維持は重要課題である。今後も学校全体として取り組み、魅力ある学校づくりを行い広報活動を強化していく。 ・実習施設との連携を図り、就学・就職の支援をしていく。
VI. 入学点検	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ禍であったが、オープンキャンパスは人数制限や感染対策をとり対面で実施した。 ・受験生は減少傾向にある状況で、各科定員は確保ができたが、APを踏まえた選抜は不十分である。 ・カリキュラム改正に伴い学校案内の改訂など、ICTを活用し学生のニーズに合わせた学校の情報を今後もタイムリーに発信していく。 ・地域へも積極的に発信していく。
VII. 卒業・就業・	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時の到達状況は、継続的に評価しているが、卒業生の活動状況や評価、就職先との連携は十分とれていない。コロナ禍で実習での体験が少なく、卒業時の技術習得については学生も不安を感じており、現教育内容への反映と卒後支援も必要である。 ・資格試験取得については、入学後から対策をとり、全国平均以上の合格率であった。
VIII. 地域社会・国際交流点検	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会・国際看護の講義は行っているが、交流などの活動は実施できていない。 ・教育理念に基づき、現行または新カリキュラムの中で地域活動に参画する教育内容や方法を検討しフィールドワーク、実習の中で地域活動に参加している。 ・ボランティア活動や地域活動への参画など、積極的にカリキュラムに取り入れ実践していく。 ・地域貢献を通して看護師育成への理解と協力を得られるようにする。
IX. 研究点検	<ul style="list-style-type: none"> ・研究活動につながる体制が不十分であり、学校内での伝達講習や教育実践報告、研究発表を実施している。 ・研究的に取り組む意識つけと支援が必要である。